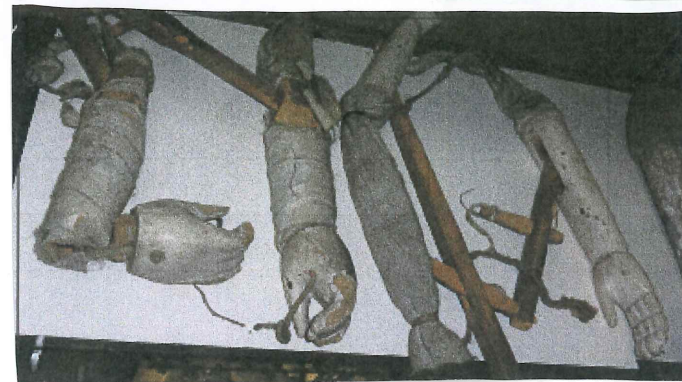


埴生人形浄瑠璃の由来

埴生の五村落「角野村、中村、道手村、佐野村、西村」で17世紀後半、飢饉や疫病が流行り、人形舞を奉納したところ翌年には豊作となり、以来毎年5月に埴生人形浄瑠璃として継承されたが、後継者不足で明治40年代衰退した。



人形浄瑠璃の木偶人形の頭



人形浄瑠璃の木偶人形の腕



人形浄瑠璃の木偶の足



復元された浄瑠璃人形（埴生公民館展示コーナー）